

鬼塚電気工事株式会社 取締役会長 尾野 徹

## ZEBで脱炭素地域づくりに参画し、 新分野挑戦・顧客拡大を実現

ZEB技術を研磨し、ZEB市場への開発参入を果たしつつ、  
地域社会の脱炭素づくりの技術習得に取り組みます。

脱炭素地域づくりには、ZEBが不可欠で、ZEBはScope2として  
最初に取り組んで欲しいものです。

弊社は、地方地域の中小企業が取り組み易い、相談し易いZEBプランナーを目指しつつ、地方・地域社会のGX取組みを盛り上げたいところです。

そのために、今までの電気工事、管工事、IoT工事の経験を統合しつつ、ZEBをIoTビルとして捉え、毎日のデータを集積し、ビッグデータとして利活用できる人材育成を目指しております。

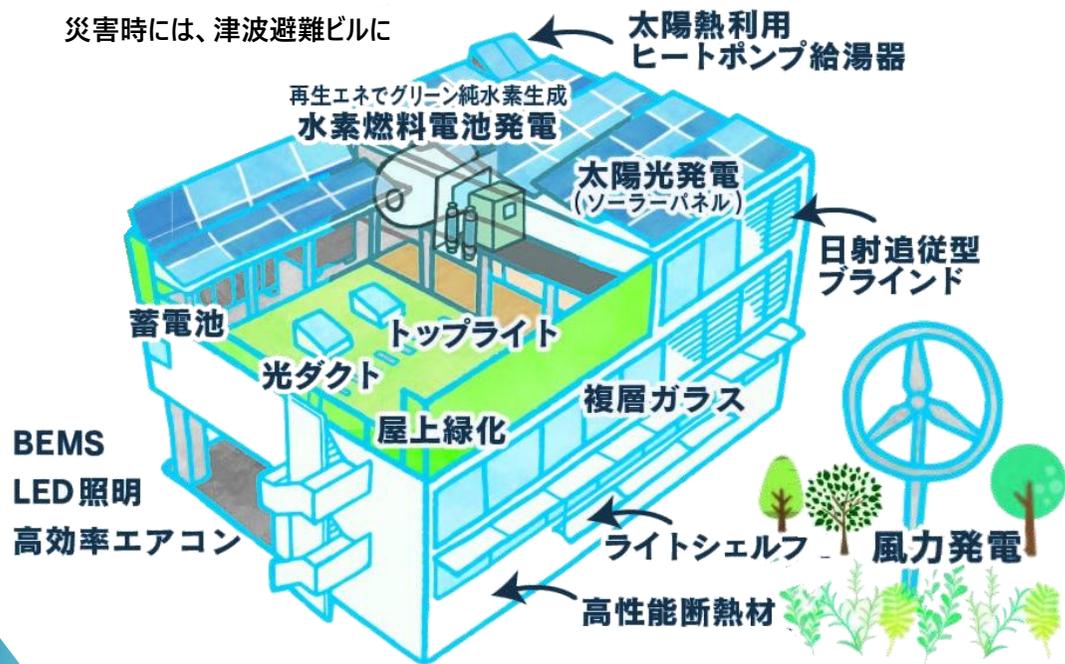
弊社が、これからの若い人達が「ZEBプランナー」や、「データサイエンティスト」として活躍出来る職場になれたら嬉しい、と、思っております。



# ZEBで脱炭素地域づくりに参画し、新分野挑戦・顧客拡大を実現

- 本社は、IoTセンサーや高効率機器で省エネ68.2%、太陽光発電で創エネ38.8%、計107%の完全『ZEB』を実現しました。
- また、太陽光と風力発電の再生エネルギーでグリーン水素を生成し、水素燃料電池発電に利用。災害時のレジリエンス強化を図ります。
- 自社のZEB化ノウハウをもとに、ZEBプランナーに登録を完了し、お客様に対してZEBサービスを新事業として提供してまいります。
- BEMSに集まったデータを公開し大学などの協力を得つつ、より良い省エネの実現を目指し、データサイエンティストの育成の場にしてまいります。

ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）：建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物  
BEMS（Building Energy Management System）：ビルエネルギー管理システム



グリーン水素燃料電池



屋上設置の水素タンク



不安定なエネルギーである太陽光発電と、風力発電で水素を生成し蓄積、それを、水素燃料電池発電で、安定エネルギーとして活用します。